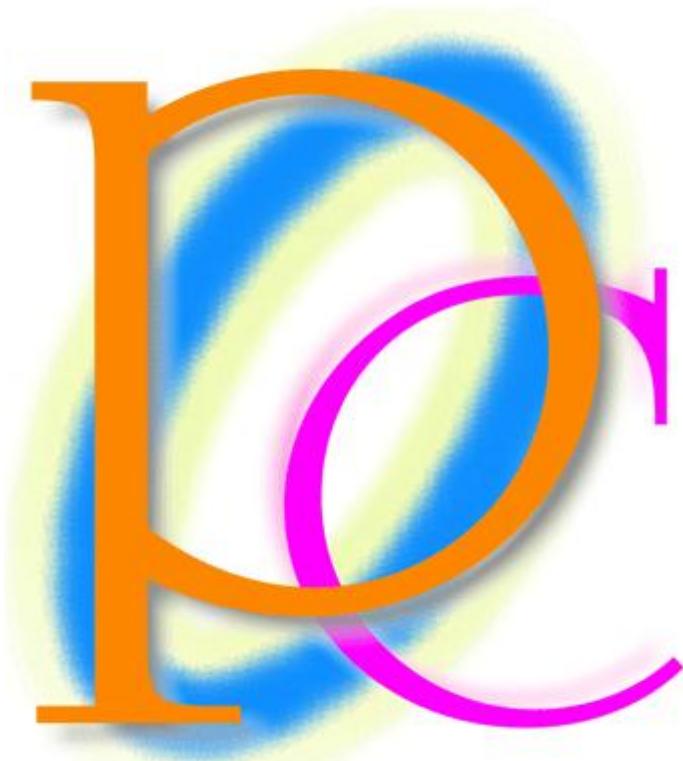


(Windows 7 Version)

Excel 2010-03-中級関数



第 1 章: べき乗(べきじょう)	6
§ 1-1 … 準備	6
§ 1-2 … べき乗(べきじょう)の使用	7
§ 1-3 … 練習問題	7
第 2 章: 範囲名の利用	10
§ 2-1 … 名前の定義	10
§ 2-2 … [名前ボックス]を使って範囲名・名前の定義	11
§ 2-3 … 範囲名を使った計算式の作成 1	12
§ 2-4 … 範囲名を使った計算式の作成 2	13
§ 2-5 … 範囲名の編集	15
§ 2-6 … 範囲名と絶対参照/選択範囲から作成	18
§ 2-7 … 名前の引用	20
§ 2-8 … 範囲名と絶対参照の研究	21
§ 2-9 … 練習問題	22
第 3 章: 切り捨て・切り上げ・四捨五入	23
§ 3-1 … 準備	23
§ 3-2 … ROUNDDOWN 関数とは(概要・らうんど だうん)	23
§ 3-3 … ROUNDDOWN の操作	24
§ 3-4 … 術数にプラスの値(正の数)を指定する	25
§ 3-5 … 術数にマイナスの値(負の数)を指定する	26
§ 3-6 … その他の術数	26
§ 3-7 … その他の処理方法	27
§ 3-8 … ROUNDUP 関数と ROUND 関数(資料)	29
§ 3-9 … 練習問題	30
第 4 章: 論理式	33
§ 4-1 … 準備	33
§ 4-2 … 論理式とは・TRUE と FALSE	33
§ 4-3 … 基本的な論理式	33
§ 4-4 … 再計算	34
§ 4-5 … 比較演算子	35
§ 4-6 … 右辺を文字にする	36
§ 4-7 … 「以外」を作成する	36
§ 4-8 … NOT 関数	37
§ 4-9 … 空欄の際に TRUE とする	38
§ 4-10 … 練習問題	38
第 5 章: 関数のネスト	41
§ 5-1 … 準備	41
§ 5-2 … 関数のネスト	42
§ 5-3 … もう一度関数のネストをやってみる	46
§ 5-4 … 練習問題	49
第 6 章: 複数の論理式-AND 関数・OR 関数	51

§ 6-1… 準備.....	51
§ 6-2… AND 関数とは(概要).....	52
§ 6-3… AND 関数の使用.....	52
§ 6-4… OR 関数とは(概要).....	56
§ 6-5… OR 関数の利用.....	57
§ 6-6… 練習問題.....	58
第 7 章: IF 関数 1	61
§ 7-1… 準備.....	61
§ 7-2… IF 関数とは(概要・いふ).....	62
§ 7-3… IF 関数の効果.....	63
§ 7-4… セルの指定と空白の指定.....	65
§ 7-5… 数式の指定.....	66
§ 7-6… 文字データの評価.....	67
§ 7-7… 空白の検索.....	69
§ 7-8… 練習問題.....	70
第 8 章: アンパサンド[&]	74
§ 8-1… 準備.....	74
§ 8-2… &[アンパサンド]の使用	74
§ 8-3… セルと文字データそのものを連結する.....	74
§ 8-4… 空白を付ける.....	75
§ 8-5… 練習問題.....	76
第 9 章: IF 関数 2	77
§ 9-1… 準備.....	77
§ 9-2… 3 つの場合分け	77
§ 9-3… 4 つ以上の場合分け	81
§ 9-4… 3 つ以上の場合分け(まとめ).....	84
§ 9-5… AND 関数を論理式に採用する	84
§ 9-6… OR 関数を論理式に採用する	87
§ 9-7… 練習問題.....	89
第 10 章: VLOOKUP[近似値検索]	93
§ 10-1… 準備と概要	93
§ 10-2… VLOOKUP 関数とは(概要・ぶい るつくあつぶ)	94
§ 10-3… VLOOKUP 関数で使用する対応表の作成	95
§ 10-4… VLOOKUP 関数の使用	95
§ 10-5… 作成の復習	98
§ 10-6… 練習問題.....	99
第 11 章: VLOOKUP 関数[完全一致検索]	103
§ 11-1… 準備	103
§ 11-2… 従来どおりの VLOOKUP 関数	103
§ 11-3… 近似値のテスト	104
§ 11-4… 完全一致検索の VLOOKUP 関数とは(概要)	107

§ 11-5… 完全一致検索を採用する	108
§ 11-6… 完全一致検索の効果	110
§ 11-7… 完全一致検索の VLOOKUP 関数を作成.....	110
§ 11-8… 完全一致検索の特徴/対応表のキー列(最左列)は文字でもよい	112
§ 11-9… 練習問題	113
第 12 章: COUNTIF・SUMIF.....	116
§ 12-1… 準備	116
§ 12-2… COUNTIF 関数とは(概要・かうんと いふ).....	117
§ 12-3… COUNTIF 関数の利用.....	117
§ 12-4… SUMIF 関数とは(概要・さむ いふ).....	120
§ 12-5… SUMIF 関数.....	120
§ 12-6… AVERAGEIF 関数	123
§ 12-7… 練習問題	124
第 13 章: HLOOKUP 関数とエラーの回避(IFERROR)	128
§ 13-1… HLOOKUP 関数(対応表が右に展開・えいち るつくあっぷ).....	128
§ 13-2… エラーの確認	130
§ 13-3… IFERROR 関数とは(概要・いふえら一)	131
§ 13-4… IFERROR 関数でエラーの回避.....	131
§ 13-5… 練習問題	133

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中にはTM,[®]マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version № : Excel2010-03-中級関数-110831
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 ¥5,040 円

第1章:べき乗(べきじょう)

§ 1-1…準備

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1		
5		面積2		
6		体積1		
7		体積2		
8				

(2) 円の面積は「 πr^2 」「円周率×半径²」「円周率×半径×半径」で計算します。セル C4 に「=C3*C2*C2」を作成して下さい。

C4 に 「=C3*C2*C2」 を作成

(3) 面積が算出されました。

(4) 球の体積は「 $\frac{4}{3}\pi r^3$ 」「 $4 \div 3 \times \text{円周率} \times \text{半径}^3$ 」「 $4 \div 3 \times \text{円周率} \times \text{半径} \times \text{半径} \times \text{半径}$ 」です。C6 に「=4/3*C3*C2*C2*C2」を作成して下さい。

C6 に 「=4/3*C3*C2*C2*C2」

(5) 球の体積が表示されました。

§ 1-2…べき乗(べきじょう)の使用

- (1) 「C2を2回掛ける」作業は、「C2*C2」でも実現しますが、「C2²」も同じ意味で扱われます。セル名のうしろに半角の「^」を使い、さらにうしろに数字を続けると、セルの値を、指定した回数だけ掛けてくれるので。「^」は「ハットマーク」と呼びます。C5に「=C3*C2²」を作成して下さい。

SUM		C	=C3*C2^2		
A	B	C	D	E	F
1					
2	半径	8			
3	円周率	3.14			
4	面積1	200.96			
5	面積2	=C3*C2^2			
6	体積1	2143.573			
7	体積2				
8					
9					

C5に「=C3*C2²」を作成

半角の「^」を「ハットマーク」と読みます

- (2) 面積が算出されました。

C5		C	=C3*C2^2										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1													
2	半径	8											
3	円周率	3.14											
4	面積1	200.96											
5	面積2	=C3*C2^2											
6	体積1	2143.573											
7	体積2												
8													

「C2²」は「C2²」の意味

- (3) 「C2³」は「C2³」「C2*C2*C2」と同じ意味になります。

C7に「=4/3*C3*C2³」を作成して下さい。

COUNTIF		C	=4/3*C3*C2^3										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1													
2	半径	8											
3	円周率	3.14											
4	面積1	200.96											
5	面積2	2143.573											
6	体積1	=C3*C2^3											
7	体積2	=4/3*C3*C2^3											
8													

C7に「=4/3*C3*C2³」を作成

- (4) ハットマーク(^)を使っても、体積の算出ができました。完成後はこのファイルを閉じましょう。

C7		C	=4/3*C3*C2^3										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1													
2	半径	8											
3	円周率	3.14											
4	面積1	200.96											
5	面積2	2143.573											
6	体積1	=C3*C2^3											
7	体積2	=4/3*C3*C2^3											
8													

§ 1-3…練習問題

- (1) 立方体の体積を求めて下さい。辺の長さを3乗します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2			立方体1	立方体2	立方体3	立方体4	立方体5	
3	辺の長さ		27	9	21	4	17	
4	体積	19,683	729	9,261	64	4,913		
5								

(2) 試験管の中で、ある菌を 15 日間培養します。この菌は 1 日で 1.12 倍(12%増)になります。現在は試験管の中に 6000 個の菌がいます。経過日数と菌の数との関係を表にしましょう。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4					
5			初期菌数	6000	
6			増加率	1.12	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

	1	6,720
	2	7,526
	3	8,430
	4	9,441
	5	10,574
	6	11,843
	7	13,264
	8	14,856
	9	16,638
	10	18,635
	11	20,871
	12	23,376
	13	26,181
	14	29,323
	15	32,841

(3) 預金額・年利に応じた預け入れ後の受取額を計算する、左のような表を作成しましょう。複利計算をしています。利子に対しても利子が付くのです。終わったら右のように年利を「1.30%」に修正してみましょう。

	A	B	C	D
1				
2	預金額	¥30,000		
3	年利	1.10%		
4	年間増加率	101.10%		
5	預金年数	8		
6	預入後の増加率	109.15%		
7	受取額	¥32,744		
8				



	A	B	C	D
1				
2	預金額	¥30,000		
3	年利	1.30%		
4	年間増加率	101.30%		
5	預金年数	8		
6	預入後の増加率	110.89%		
7	受取額	¥33,266		
8				

(4) ある薬品がビーカーの中に 2500ml あります。この薬品は 1 時間に 2.5%ずつ蒸発します。各時間と残りの薬品量を表にしましょう。2 時間後には「 $2500 \times (100\%-2.50\%)^2$ 」の量が残ります [$2500 \times 97.5\% \times 97.5\%$]。20 時間後には「 $2500 \times (100\%-2.50\%)^{20}$ 」の量が残ります [$2500 \times (97.5\%)^{20}$]。

	A	B	C	D
1				
2		蒸発率	2.50%	
3				
4	経過時間	薬品量		
5	0	2,500		
6	1	2,438		
7	2	2,377		
8	4	2,259		
9	8	2,042		
10	12	1,845		
11	16	1,667		
12	20	1,507		
13	24	1,362		
14	28	1,230		
15	32	1,112		
16	36	1,005		
17	40	908		
18	44	821		
19	48	742		
20	52	670		
21	56	606		
22	60	547		
23				

第2章:範囲名の利用

§ 2-1…名前の定義

(1) 以下のような表を作成して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3	市川		¥1,100		工藤		¥4,200		馬場		¥1,900		
4	広瀬		¥700		山下		¥2,600		村木		¥2,400		
5	星野		¥5,000		岩瀬		¥1,400		木之下		¥1,800		
6					高野		¥900		熊沢		¥2,500		
7					江沢		¥3,400						
8					北岡		¥2,900						
9													
10	東京計												
11	大阪計												
12	福岡計												
13													
14	総平均												
15	総合計												
16													

(2) セル C3:C5 の数値群に「東京」という名前を設定します。選択してから【数式】[名前の定義]を使うと範囲に特別な名前を付けて登録しておくことができます。

Book1 - Microsoft Excel

2. 【数式】[名前の定義]

1. C3:C5 を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
2	市川		¥1,100		工藤		¥4,200		馬場		¥1,900		
3	広瀬		¥700		山下		¥2,600		村木		¥2,400		
4	星野		¥5,000		岩瀬		¥1,400		木之下		¥1,800		
5					高野		¥900		熊沢		¥2,500		
6					江沢		¥3,400						
7					北岡		¥2,900						
8													

(3) 「C3:C5」を「東京」という名前で登録・OK しましょう。

